

# あ!っと北斎 ~みて、みつけて、みえてくる浮世絵~

## 企画展

### 展示構成、関連イベントのご案内

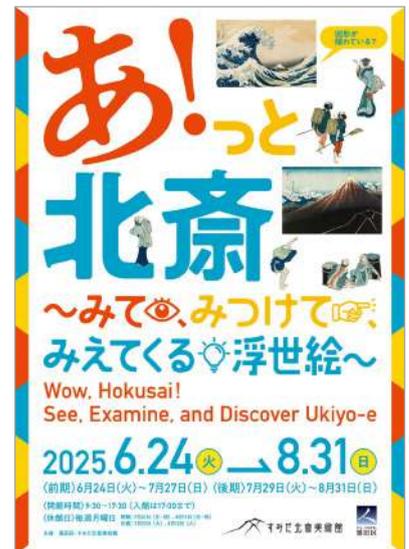
すみだ北斎美術館（東京都墨田区）では、2025年6月24日（火）から8月31日（日）まで、企画展「あ!っと北斎~みて、みつけて、みえてくる浮世絵~」を開催いたします。

日本を代表する画家として知られる葛飾北斎の作品の中には、「あ!」っとおどろく多くのしかけがみられます。それに気づくと、他の作品にはどのようなしかけがあるのか、わくわくしながら次の作品をみてみたくなり、北斎や浮世絵について、さらに知りたくなることと思います。

本展では、「at Hokusai」＝北斎の作品から得られる発見を通して、作品の魅力を感じていただきます。北斎の作品をみて、北斎の作品でみつけて、北斎の作品からみえてくる体験をお楽しみいただき、北斎や浮世絵に興味を持つ入口となるよう、やさしい解説で北斎や弟子の作品をご紹介します。はじめての美術館見学や、自由研究のための学習としてもおすすめです。ぜひ会場で「あ!」っと気づき、楽しい時間をお過ごしください。

#### 【開催概要】

展覧会名	あ!っと北斎~みて、みつけて、みえてくる浮世絵~
会期	2025年6月24日（火）～8月31日（日） ※前後期で一部展示替えを予定 前期：6月24日（火）～7月27日（日） 後期：7月29日（火）～8月31日（日）
休館日	毎週月曜日 ※開館：7月21日（月・祝）、8月11日（月・祝） 休館：7月22日（火）、8月12日（火）
会場	すみだ北斎美術館 3階企画展示室 〒130-0014 東京都墨田区亀沢 2-7-2
開館時間	9:30～17:30（入館は17:00まで）
主催	墨田区・すみだ北斎美術館
観覧料	一般1,000円、高校生・大学生700円、65歳以上700円、 中学生300円、障がい者300円、小学生以下無料
ホームページ	<a href="https://hokusai-museum.jp/at-hokusai/">https://hokusai-museum.jp/at-hokusai/</a>



- 観覧日当日に限り、4階『北斎を学ぶ部屋』※旧名称 AURORA（常設展示室）、常設展プラスもご観覧いただけます。
- 一般以外の料金対象者は年齢等が確認できるものをお持ちください。
- 障害者手帳をご提示の方は、付添の方1名まで障がい者料金でご覧いただけます。
- 前売券及びオンラインチケットの発売日・当日観覧券の発売日・販売方法、各種割引の詳細、団体での来館（事前予約優先制）、最新のイベント情報については、すみだ北斎美術館の公式ホームページをご覧ください。



報道関係の  
お問い合わせ

すみだ北斎美術館 広報・プロモーショングループ  
中原／長谷川／金本／加藤  
〒130-0014 東京都墨田区亀沢 2-7-2  
TEL 03-6658-8991／FAX 03-6658-8992  
Email hm-pr@hokusai-museum.jp



## 展示構成および本展の見どころ

### プロローグ 浮世絵と北斎 早わかり案内所

#### 浮世絵とは？

「浮世」という言葉は、もとは仏教用語でしたが、北斎が活躍した江戸時代には今風、現代風という意味が加わりました。「浮世絵」とは江戸時代の庶民の生活などを描いた絵のことを言います。これを描く人を浮世絵師とよびます。浮世絵には浮世絵師が直接描いた肉筆画と、絵師の他に版木を彫る彫師、版画を摺る摺師など手分けして作業する版画があり、版画には「富嶽三十六景」のような一枚ものの版画（錦絵や摺物など）と、『北斎漫画』のような本の形の版木があります。

木版画の技術の発達により大量に印刷することができるようになり、庶民に広まっていきました。

#### 葛飾北斎(1760-1849)ってどんな人？

江戸時代中後期に活躍した浮世絵師。「富嶽三十六景」シリーズなどの代表作があります。

数え 19 歳で浮世絵師としてデビューし、当時としてはかなり長寿で、90 歳で亡くなるまで生涯絵師として活躍し続けました。北斎の作品はやがて国外にも伝わり、海外の芸術家にも大きな影響を与えました。

### 1 北斎の作品をみてみましょう

「富嶽三十六景」が代表的！

< 版画（錦絵・摺物） >



「富嶽三十六景」の代表的な一図で、東海道の宿場である神奈川宿（現在の横浜市神奈川区）の沖から富士山をみた図です。波の間にみえる船は、江戸湊（現在の東京湾）やその他周辺の地域から江戸へ新鮮な魚を急いで送るための押し船です。大きな波が水しぶきをあげながら力強く立ち上がり、それに揺さぶられる船の人々と、静かにたたずむ富士山の対比を表わした作品です。海外では「Great Wave」とよばれ、日本では 2024 年 7 月から 1000 円札の裏側のデザインに使われるなど、世界中で親しまれています。

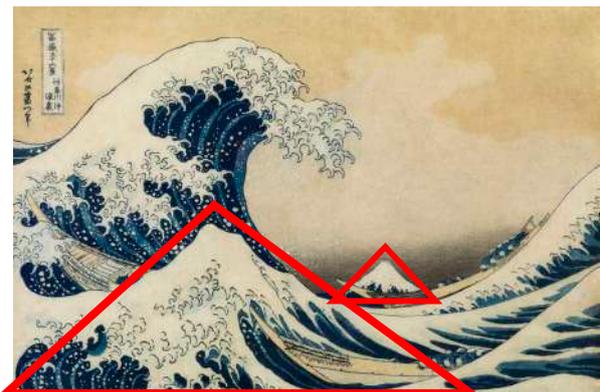
葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」

すみだ北斎美術館蔵（通期）※1

※1 半期で同タイトルの作品に展示替えをします。



富士山の△が  
くり返されている！？



### 小説の挿絵から絵のお手本まで！？

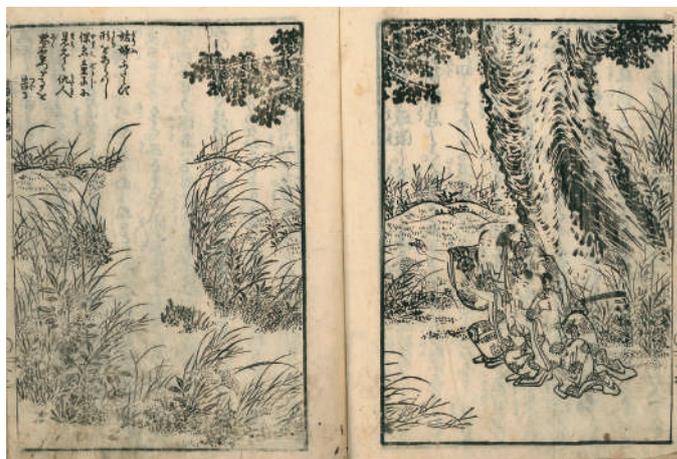
< 版本 >



葛飾北斎 かたきうちうらみくすのは 『敵討裏見葛葉』四  
妖婦ようふうふたゝび形かたきをあらはし保名童子やすなどうじに見えて仇人かたきあくえもん悪右衛門まみが事ことを告つぐる  
すみだ北斎美術館蔵（通期）



薄墨がほどこされていたところが、後摺では省略され空白に！



### 北斎が直接描いた一点もの！

< 肉筆画 >



北斎が 40 代前半ごろに手がけた肉筆画です。ヤドカリ、シジミ、アワビ、イカ、モウオ、エビ、タイラギの7種の魚介が描かれています。墨のにじみを活かした「たらし込み」や、筆を寝かせて濃淡をあらわす「付け立て」の技法も使いながら、魚介独特の質感を表現しています。



イカは、貝殻を粉末状にした胡粉こらんと墨で着色されている！

葛飾北斎「魚介図」  
すみだ北斎美術館蔵（前期）

## 2 「あ！」っと、みつけて、みえてくる！ 1 共通点を見つけましょう



葛飾北斎「富嶽三十六景 遠江山中」

すみだ北斎美術館蔵（通期）※1

※1 半期で同タイトルの作品に展示替えをします。



葛飾北斎「百人一首宇波かゑとき 春道列樹」

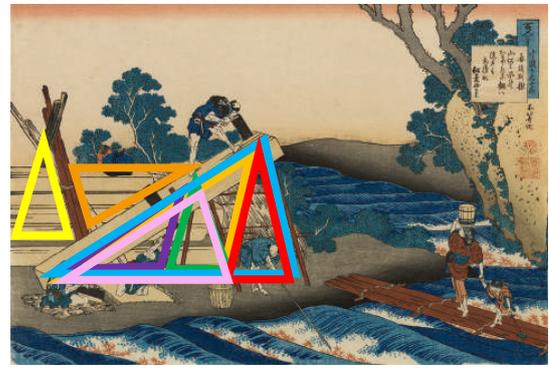
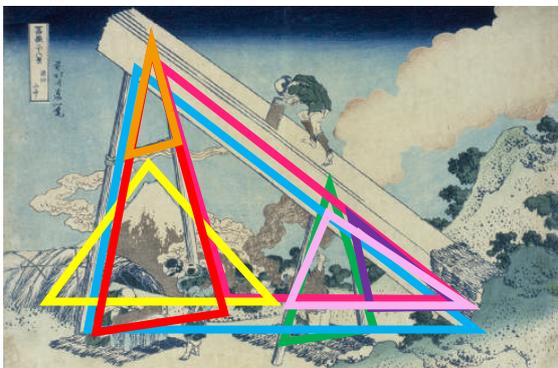
すみだ北斎美術館蔵（後期）

遠江とはかつての静岡県西部をさす国名です。ここでは、その山中で、職人が木材を切り分けて、材木に仕立てる作業が描かれています。大きな木材の下には、のこぎりを研ぐ職人や赤ん坊を背負った女性、焚火の番をする子どもの姿もみられます。

本図は『百人一首』の歌を題材とするシリーズの一図です。平安時代の歌人、春道列樹の川に流れる紅葉を詠んだ和歌「山河に風のかけたる 柵は流れもあえぬ紅葉成けり」が題材となっていますが、この絵は木材を切る職人に注目して描かれています。「富嶽三十六景 遠江山中」にも木材を切る職人が登場しています。木材の下には、「遠江山中」と同じくのこぎりを研ぐ職人や漁をしていると思われる人のほか、亀を連れた親子が橋を渡る様子もみられます。



いくつもの△がかくれている！？  
木材や支柱がつくる三角形がくり返される  
工夫された構図！



## 2 違いを見つけましょう



葛飾北斎「富嶽三十六景 山下白雨」  
すみだ北斎美術館蔵（前期）

山裾には黒い雲がたちこめ雷がとどろいていますが、上空は青空に雲が浮かんでいます。富士山を中心に、2つの対照的な天候を描くことで、富士山の大きさや高さを表現しています。「神奈川沖浪裏」「凱風快晴」とともに、「富嶽三十六景」シリーズを代表する作品です。なお、雷の稲妻は、すみだ北斎美術館のロゴマークのデザインの元になっています。



同じ絵なのにどれも少しずつちがう!?



葛飾北斎「富嶽三十六景 山下白雨」  
すみだ北斎美術館蔵（後期）



葛飾北斎「富嶽三十六景 山下白雨」  
吉野石膏コレクション すみだ北斎美術館寄託（後期）

## 3 絵をみて、みえてくる？



葛飾北斎「富嶽三十六景 <sup>ごひやく</sup>五百らかん寺<sup>じさざい</sup>さざりどう」  
すみだ北斎美術館蔵（通期）※1

※1 半期で同タイトルの作品に展示替えをします。

<sup>ごひやく</sup>五百羅漢寺とは、現在の江東区にあった寺院です。「<sup>さざい</sup>さざりどう」の正式名は<sup>さんそうどう</sup>三叟堂といひます。内部が3層のらせん構造になっており、さざえに似ていることから、さざい堂とも呼ばれました。本図では、建物や人々の姿勢などは、富士山に視線をさそうような構成で描かれています。



どこからか鳥の音が...



## 【関連イベント】

スライドトーク	
日 時	2025年7月19日(土)、8月9日(土) 各日 13:30~14:00(開場 13:00)、15:00~15:30 (開場 14:30)
講 師	本展担当学芸員
会 場	MARUGEN100 (講座室)
定 員	40名 (各回開場時間から整理券配布)
料 金	無料 (ただし企画展観覧券か前売券、または年間パスポートが必要です)

講演会「江戸時代の絵画に使われた青色の歴史」(仮)	
日 時	2025年7月21日(月・祝) 14:00~15:30(開場 13:30)
登 壇 者	谷口陽子氏 (筑波大学人文社会系歴史・人類学専攻教授)
会 場	MARUGEN100 (講座室)
対 象	小中学生 ※一般の方もお申し込み可能です。
定 員	40名 (事前申込制・先着順) ※イベントの詳細と申込方法はHPを通じてお知らせします。
料 金	無料 (ただし企画展観覧券か前売券、または年間パスポートが必要です)

教育普及イベント「北斎で自由研究！」	
日 時	2025年8月2日(土) 14:00~15:00 (開場 13:30)
講 師	墨田区教育委員会事務局指導室指導主事
会 場	MARUGEN100 (講座室)
対 象	小中学生
定 員	40名 (事前申込制・先着順) ※イベントの詳細と申込方法はHPを通じてお知らせします。
料 金	無料 (ただし企画展観覧券か前売券、または年間パスポートが必要です)

トークフリータイム (参加自由)	
日 程	7、8月の第4水・木曜日 7月23日(水)、24日(木)、8月27日(水)、28日(木) および企画展関連イベント実施日 7月19日(土)、21日(月・祝)、8月2日(土)、9日(土)
時 間	各日 13:00~16:00
会 場	館内すべての展示室 ※小中学生とそご家族を中心に作品鑑賞を支援する時間帯とはなりますが、どなたでもご観覧いただけます。

●最新の状況は、すみだ北斎美術館公式ホームページにて最新情報をご確認ください。

# 企画展「あ！っと北斎～みて、みつけて、みえてくる浮世絵～」 展覧会広報用 作品画像請求紙

画像のお申込みにあたり以下の注意事項を必ずご一読いただき、全て遵守をお願いいたします。

## 《 画像貸出に関して注意事項 》

- ・画像を使用の際は、クレジット全文（作家名・作品名・所蔵先・展示期間）の表記が必須となります。
- ・画像は記事などで本展をご紹介いただける場合に限りご利用いただけます。本展の広報に関わらない出版物や映像への使用・転載、商業利用はできません。
- ・画像の複製・貸与・頒布・配布・販売などはお断りいたします。
- ・画像は全図でご掲載ください（部分図のみの使用は不可となります）。
- ・ご使用後は、画像データの破棄をお願いいたします。
- ・展示作品は都合により変更することがあります。

ご希望の番号にチェックをお願いいたします。

- 企画展「あ！っと北斎～みて、みつけて、みえてくる浮世絵～」 チラシ表面
- 企画展「あ！っと北斎～みて、みつけて、みえてくる浮世絵～」 横長バナー（1366px×500px）
1. 葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」すみだ北斎美術館蔵（通期）※1
2. 葛飾北斎「富嶽三十六景 山下白雨」すみだ北斎美術館蔵（前期）
3. 葛飾北斎「富嶽三十六景 山下白雨」（変わり図）すみだ北斎美術館蔵（後期）
4. 葛飾北斎「柳に燕図」すみだ北斎美術館蔵（前期）
5. 葛飾北斎「富嶽三十六景 五百らかん寺さゞみどう」すみだ北斎美術館蔵（通期）※1

※1 半期で同タイトルの作品に展示替えをします。

貴社名
貴媒体名
部署名   (役職名 )
ご芳名
ご連絡先 TEL   FAX   E-mail
ご掲載・放送予定 月 日 ※こちらは必ずご記入いただきますようお願いいたします。
備考   ※ご要望などございましたらご記入下さい。



報道関係の  
お問い合わせ

すみだ北斎美術館 広報・プロモーショングループ  
中原／長谷川／金本／加藤  
〒130-0014 東京都墨田区亀沢 2-7-2  
TEL 03-6658-8991／FAX 03-6658-8992  
Email hm-pr@hokusai-museum.jp

